

# 令和4年度 医療センター事業報告

厳しい医療情勢、コロナ禍の中、会員医療機関の協力を得て、引き続き運営の安定と健全経営に努める。

検査・検診・診療3部門は、各部門の能力を発揮し、医療センターの運営として一つにまとめ、会員のニーズに応え、また地域住民の医療・保健・福祉向上のため、地域の求めに応えられるセンターを目指す。

## 《事業項目》

### 1. 臨床検査部

- ① 必要に応じて柔軟な対応ができるよう、日頃より業務内容を見直し効率的に業務を遂行できるよう努めた。
- ② 引き続きシステムを活用した会員支援（電子カルテとの連携）を実施し、安定したサービスを提供に努めた。
- ③ 検診部・診療部との連携を充実させ、医療センターの運営に貢献した。
- ④ 精度確保の安定化を図り、厳密な精度管理に努めた。
- ⑤ 外部研修会への参加及び内部研修会を実施し、技師の育成を推進した。
- ⑥ 病理組織検査を外注し経費削減に努め、経営の改善を図った。

### 2. 検診部

- ① 唐津市・玄海町の特定健診・がん検診を実施し、また、自治体と連携し受診率や人口動態に沿った適正化を図った。
- ② 事業所の各種健康診断及び生活習慣病予防健診、ストレスチェックを積極的に受託し、職場の健康管理に貢献するよう努めた。
- ③ 人間ドックのサービスの充実を図り、受診者の満足度を高めリピートを促すよう努めた。
- ④ 会員医療機関の特定健診等の代行入力業務を行い、個別健診の円滑な実施に協力した。
- ⑤ 契約医療保険者からの特定保健指導を実施した。
- ⑥ 学校保健安全法に基づく学童・生徒等の各種検診を実施した。
- ⑦ 多様な検診実施・ニーズの変化に対応するため、職員の資質向上を図った。

### 3. 診療部

- ① 会員からの紹介患者に対し、積極的かつ迅速に対応し、収益の確保、安定化を図った。
- ② 急性期一般入院料5を維持し、平均在院日数及び病床利用率のバランスを図った。  
引き続き下記を重視する。
  - ・地域包括ケア病床を活用する。
  - ・地域連携室を活用し、紹介医等との連携を強化する。
  - ・紹介患者の受け入れを円滑にし、新入院患者数の増加を図る。
- ③ 引き続きリハビリテーション診療の今以上の強化を図る。
- ④ 引き続き医療用消耗品、薬品等の在庫管理を徹底し、後発医薬品への切り替えを推進する。
- ⑤ 引き続き医療安全・院内感染対策に積極的に取り組み、安心して良質な医療を提供する。

### 4. 諸会議

- ① 幹部会議、各種委員会
- ② 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会（大分市／Web開催）
- ③ 市町保健事業等会議